



小樽南ロータリークラブ会報

1960年創立
昭和35年2月5日

16

2020年12月4日発行
通巻 第2926号

Rotary

2020-2021年度IRテーマ



2020-2021年度 RI第2510地区目標

「守・破・離」の心で
初心を忘れず！変化を恐れず！
希望の扉を開けましょう。

- 2020年ロータリー100周年を祝おう
- 会員基盤の強化
- IT活用の推進と公共イメージの向上
- 1クラブ1プロジェクトの推進
- ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- クラブ戦略計画の作成に期待

●例会場/オーセントホテル小樽 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080 ●Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第15回例会報告（11月20日金） 卓話：見延会員

■ロータリーソング【それでこそロータリー】

■会長挨拶【斎藤会長】

先週は小樽クラブ関さんから、大変ためになる終活のお話しをいただき、ついつい聞き入ってしまいました。

また、ご存知コロナ警戒レベルもあがってきました。過去に例をみない感染者数になっております。改めて来月からの例会開催の有無も四役で協議したいと考えております。

今日の例会は、会員卓話を見延歴代会長、歴代ガバナー補佐にお願いいたしました。当初は、もういいよ、卓話は卒業だよとおっしゃったのですが、見延会員の意外な一面を知ってしまった私は、そのくだりのお話しをしていただきたいと懇願し、最後の手段「私は見延年度の入会です」と、伝家の宝刀を抜き本日にこぎつけました。

今回の卓話、私もパワーポイントで協力させていただきました。65年前の秘蔵写真の数々と見延節をお楽しみ頂ければと思います。

■幹事報告

- 当面の間、コロナの関係で例会場での食事は不可のため、点鐘は12:00となります。ご協力をお願いします。
- 次回11月27日金は休会です。
- 60周年記念誌の改訂版をメールBOXに入れてあります。入れ替えをお願いします。初版本はメールBOXにお戻しください。

■まごころ箱 いつも有難うございます！

斎藤会員 見延さん、本日は卓話ありがとうございました！

京谷会員 お先に失礼します。

東会員 夫人誕生祝。

4日でした、忘れてました、あぶない所でした。

田中会員 会員誕生祝。

■本日12月4日金のプログラム

- 卓話：余市RC 平川 進氏

■来週12月11日金のプログラム

- 定時総会
新入会員卓話：小原会員
山下会員

■再来週12月18日金のプログラム

- 年末家族懇親会

■出席委員会

令和2年11月20日金

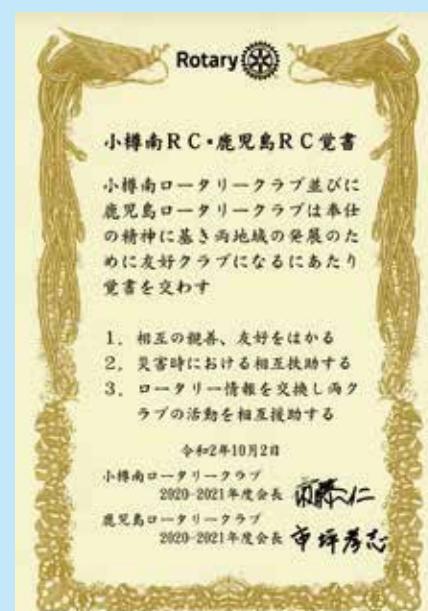
会員総数 64名 本日の欠席者 0名
理事会決定により100%出席

リモート出席者 6名

小林、佐藤（勉）、廣瀬、保地、宮川、山下

令和2年11月6日金

理事会決定により 確定出席率 100.00%



令和2年10月2日付で
鹿児島ロータリークラブとの友好クラブの
締結証書が作成されました。

入金集計額

【令和2.7.3～
令和2.11.20】 11月20日分
7,000円

合計 541,000円



東京での我が青春を語る

鰐淵晴子さんの家庭教師でアルバイト 見延会員

大学時代に東京で元NHK交響楽団コンサートマスター鰐淵賢舟先生にヴァイオリンを習い、同時に娘さんの鰐淵晴子さん明子さんの家庭教師をしてレッスン料を稼ぎました。

当時晴子さんは小学生4年で9歳の可愛い子供でしたが、3歳から英才教育を受けていただけあって、ヴァイオリンの演奏もとても上手でした。指も長く、楽器もストラスバリュウスと云うイタリー製の名器を使い、大曲を伸び伸び弾いていました。その上、「ノンちゃん雲にのる」等の映画で主演女優役を演ずる等超多忙な毎日で、学校もしばしば休むことも多かったので、勉強をみてやったり、本や毎日100通くらい来ていたファンレターを読んだりしてあげていました。

大学3年の時、先生から「北海道で演奏旅行をしたいので、10箇所主催者をみつけて契約を貰って来る様に」との指示がありました。なんとかなるだろうと引き受け、学校の夏休み1週間前に準備の為帰郷し、親父から「お前は学校に遊びに行ったのか!!」と一喝され、苦く懐かしい想い出となりました。

先生より特に晴子さんが有名でしたので、2人の有力者の紹介で音楽会の主催団体は10箇所全部決まり、会場は稚内を皮切りに小樽、札幌、苫小牧他何処も満員の盛況でした。

私は晴子さんの9~10歳の子供の時代のことしか知りませんが、齊藤会長がインターネット等からその後の写真や情報を集めてくれDVDが出来ました。（感謝）

鰐淵一家との縁で、ピアノ伴奏者の久本成夫先生と奥さんの奥田千恵子先生（当時、ドイツ歌曲の歌い手としては日本一と云われていた）とも親しくさせて頂き、私の大学時代の友人の結婚披露宴ではご夫婦で「荒城の月」ほか日本歌曲を歌って貰い、これが大好評でした。私の生まれて初めてのトンチンカンなスピーチもご愛嬌になったのもなつかしい思い出です。

来賓席には東大の茅学長、南極探検第1次楠木隊長、ペギー葉山他有名人多数でした。

大学卒業後、4年経ったら小樽へ戻ると云う、親父との約束があったことから、「東京ではサラリーマン生活をしながら青春を徹底的に謳歌しよう」と考え、勤務時間も短く、女性の多い華やかな保険会社に入社、新橋本社勤務で仕事は「支社督励資料作り」でしたが、仕事はほどほどにして会社公認のクラブ活動に熱中し、混声4部のコーラス部はピアノ伴奏を、テニス部はマネジャー、夏はキャンプ、冬は長野ヘスキー等、散々遊び呆け思う存分青春を謳歌しました。

4年後、会社を退職した時、取締役人事部長から「見延君は会社の文化発展のために貢献して呉れた」と言われましたが、仕事の評価は何一つありませんでした。

1960年（昭和35年）北海道へ戻り、父の経営する北海道通運に入社し、今度は仕事一筋？28歳で華やかな青春は終わり波乱の人生が始まりました。

29歳で結婚、来年で結婚60周年、定年を迎えます。

今は終日音楽漬けの毎日で（専ら聴く方）、毎週のロータリー例会を楽しみにし、ゴルフで健康をキープしている等、極楽です。

現在の鰐淵晴子さん



日本クラシック音楽



鰐淵先生



親子でパッハの
三重奏協奏曲を共演



鰐淵晴子さん